

令和3年9月16日

(あて先) 千葉市議会議長

議席番号 3 番 氏名 伊藤 隆広

質 問 主 意 書

千葉市議会会議規則第61条の2第2項の規定により、質問主意書を提出します。

【質問項目・内容】(3項目6問以内)

1. 災害に強いまちづくりについて
 - (1) 事前復興の取り組みについて
 - ア 新市長就任や危機管理部門の体制強化による期待について
 - イ 進捗と取り組みについて
 - (2) 民間事業者との災害協定について
2. 電気自動車の給電ステーション設置について
3. 美浜区の諸問題について
 - (1) 幸町2丁目のまちづくりについて
 - ア 経緯の把握について
 - イ 幸町2丁目における公園整備の考え方について

【質問文】(900文字程度)

1. (1)

令和3年3月には危機管理の強化を訴える新市長にかわり、7月には局長級危機管理監の設置を含めた体制の機能強化が図られた。災害に強いまちづくりを進める為に、これまで多様な取り組みを行ってきたところであるが、事前復興に対しては具体的な取り組みが十分ではない状況である。

一つに、新市長就任や危機管理部門の体制強化により、事前復興の取り組みについてどのような期待できるか？

二つに、事前復興の進捗と今後の取組みについてうかがう。

1. (2)

本市では、災害に強いまちづくりを進める視点から、民間事業者との災害協定の締結を積極的に行っている中で、バス事業者との協定締結はみられない。他自治体の事例ではバスのエアコンや電源を活用した一時的な滞在・給電場所や人員輸送等での協定が見られるところである。

バス事業者との災害協定についての現状と今後の取組みについてうかがう。

2.

本市では、次世代自動車の普及を促進するため、一般住宅用充電設備（V2H）等を購入した方に補助金を交付する制度を実施しているが、一般住宅に対しての補助金であり、広く普及を促進する目的に対し、効果が限定的であると思われる。本市では、大規模な団地・マンション等の集合住宅を数多く抱えており、これらの団地・マンション等の集合住宅において、給電ステーションの設置を促す施策を展開する方が、普及促進の点からしても、公益的な視点からしても、望ましいと考えられる。

団地・マンションなどの集合住宅に対する、給電ステーションの設置の支援について、現状と今後の取組みについてうかがう。

3.

幸町2丁目においては、かつて現在のURが整備をした中央運動広場やテニスコートがなくなり、大規模な公園空間が現在はない状況である。

面積や住民数を踏まえると近隣公園に相当する都市公園が整備されてしかるべき状況であることや、美浜区内の他中学校区にはそれぞれ1つの近隣公園は整備されていること、地元自治会からURが実施を予定している「団地再生」に合わせ公園整備等を行うよう要望が出されていること、などを踏まえると整備の検討がなされるべきと考えられる。

一つに、中央運動広場等がなくなった経緯をどのように把握しているか。

二つに、幸町2丁目における公園整備の考え方についてうかがう。